



総合型地域スポーツクラブ

第6号

情報ステーション

—財団法人 北海道体育協会—

“努力満載”おめでとう!

◆設立7クラブ◆

市町村	クラブ名
札幌市	札幌北都スポーツクラブ
千歳市	東津向陽台スポーツクラブ
滝川市	滝川スポーツクラブ
八雲町	落胆スポーツクラブ
留萌市	るもいスポーツクラブ
帯広市	清柳スポーツクラブ
標津町	標津スポーツクラブ

☆育成指定7クラブが設立総会

関日本体育協会「育成推進委託事業」を受け、本道の7クラブが平成17年度と18年度の2年間にわたり育成指定クラブとなり、クラブ設立を第1目標に掲げ、各地で特色ある活動を展開してきました。

その2年間の努力が実を結び、全クラブが年度内に設立総会を開催して、正式に総合型クラブを立ち上げました。

その間、年2回の事業報告を始め、組織上の問題、住民への認知方策、指導者やスタッフの人材確保など、多くの課題に対応する中の立ち上げであり、正に“努力と喜び満載”そのものであります。



[体力チェックの滝川スポーツクラブ]



[人気の体操教室・清柳スポーツクラブ]



喜びの声【I】

林 良彦 氏
(標津スポーツクラブ)

クラブ設立によって、住民の健康と交流の拠点が出来、既存のものと違う気軽に楽しくスポーツできる環境が整ったと思います。

育成指定クラブの補助金によって、多くの住民が大学の先生の講演を聞いたり、他クラブの視察によってスポーツへの理解も一層深まった感じがします。

喜びの声【II】

増田 久美子 氏
(清柳スポーツクラブ)

クラブが出来たことで、上手な人ばかりでなく、楽しみや健康づくりの人のためにも役立つ環境ができたと思います。

今年度は保健センターとも連携を図り、地域住民にもクラブの存在が浸透して会員も100人を越えています。

ここまで頑張ったのも、クラブづくりの仲間をはじめ、市教委や学校関係者に助けられ感謝しております。



[室蘭中央地区スポーツクラブ]

平成19年度育成指定19クラブ 全道各地で 道産子クラブ奮闘中

平成19年度本道の関日本体育協会育成指定クラブは、継続2年目指定となる、四里塚スポーツクラブ(北広島市)など8クラブです。

これに加え、新規育成指定クラブとして、麓郷スポーツクラブ(富良野市)、伊達わくわくスポーツクラブ(伊達市)など11市町村のクラブが新たに指定を受け、合計19のクラブとなり、全国でも最も多い指定数となりました。

・継続2年目になるクラブは組織も固まりつつあり、種々の課題に対峙しながら、設立総会(クラブ設立)に向けて準備を進めているところです。

・新規クラブは文科省(日本協)委託事業が公募の関係でスタートが遅れ、戸惑いもありましたが、6月から一齊にクラブの活動を開始しました。その中で、新冠町スポーツクラブは、新しい少年団の在り方を構築するのが総合型クラブの基盤になっており、サッカー・野球など9種目の教室など本格的な活動が始まりました。

また上風連スポーツクラブ(別海町)では、135戸の大部分が酪農業ということもあります。現在牧草刈の真最中、本格的な活動はもう少し先になるが、これまでの上風連地区は体協、少年団、各サークルがバラバラの活動をしていたものを、体操や青年団が中心になり、総合型クラブとしてまとめ、地区的スポーツの中核として位置付け、「地域おこし」の原動力にしようと張り切っています。

新規クラブにとって、先ず始まりの事業は、運営委員会や設立準備委員会の開催と思われますが、性急にならず、一步一步確実な積み重ねを期待したいものです。



[新冠町スポーツクラブ]

◆新規クラブ(11)◆

市町村	(仮称)クラブ名	市町村	(仮称)クラブ名
富良野市	麓郷スポーツクラブ	羽幌町	はまろスポートクラブ
美唄市	美唄スポーツクラブ	伊達市	伊達わくわくスポーツクラブ
新冠町	新冠町スポーツクラブ	上富良野町	かみふらのスポーツ健康クラブ
別海町	上風連スポーツクラブ	新篠津村	新篠津スポーツクラブ
弟子屈町	摩周ふれあいスポーツクラブ	天塩町	天塩スポーツクラブ
俱知安町	俱知安スポーツクラブ		

2007年

絆
づくり

◆継続クラブ(8)◆

市町村	(仮称)クラブ名
北広島市	四里塚スポーツクラブ
函館市	函館東部地区ふれあいスポーツクラブ
深川市	深川スポーツ健康クラブ
美深町	ひむかスポーツクラブ
室蘭市	室蘭市中央地区スポーツクラブ
日高町	日高地区スポーツクラブ
帯広市	帯広の森スポーツクラブ
羅臼町	春松スポーツクラブ



北のクラブの 全道市町村[設置率] 勢い加速

普及・啓発説明会スタート

眞日本体育協会（文部科学省事業）の委託事業である「育成指定クラブ」を目指してもらう目的で開催される、平成19年度の普及啓発説明会（市町村によっては、研修会・セミナー・学習会などいろいろ）が、統一地方選挙を終えて直後の4月24日、道北のまち・枝幸町を皮切りに、全道各地で始まりました。

育成指定クラブの委託事業計画では、平成22年までの事業となっていますが、今年度に入り、全道の各市町村においては、総合型クラブが徐々ながらも浸透して来ていることや事業が終盤を迎えてきていることもあって、取り組みの動きが一気に加速化の様相を示しています。



〔4月28日 新十津川町〕

現在のところ、平成20年度の新規の育成指定クラブに向けての希望予定市町村は、およそ35市町村にもなっています。本道の当面の目標である市町村設置率50%に近づきつつあり、この勢いを今後も続けて行きたいものであります。

そうした中で今回は、総合型クラブ普及啓発説明会として、本年度最初に開催した道北の枝幸町の状況及び道東の幕別町、本別町、足寄町、豊頃町、池田町それぞれの実施状況をルポI・ルポIIでお知らせします。

ルポI “道北のまち枝幸町で60人参加の熱気”

▶スポーツあふれるまちづくり 「総合型地域スポーツクラブ」セミナー

平成19年度の総合型クラブ普及啓発説明会は、トップを切って4月24日(火)18時30分から枝幸町中央コミュニティセンターにおいて、▶スポーツあふれるまちづくり「総合型地域スポーツクラブ」セミナーとして開催されました。

セミナーに先立ち、電話での打合わせや資料の送付など、担当である町教育委員会井上謙一社会教育課長補佐といろいろ連絡を取り合いましたが、その対応の良さと進め方に感謝しております。

開催当日の1時間程前に町教育委員会に出向き、茂木重行教育長を表敬訪問すると、中野勝義社会教育課長、外村栄一町体育協会長も同席しており、「道北のまち枝幸町に是非とも総合型クラブを」と説明しあげたところ、茂木教育長、外村体育協会長共に、深い理解を示してくれました。

さて、いよいよセミナーの開始ですが、正直に、年度早々4月のこの時期に、どの位の参加者が集まるか心配がありました。しかし、井上課長補佐を中心とした町教育委員会の粘り強い働き掛けにより、18人の体育指導員のほぼ全員が参加するなど、体協や町内のスポーツ関係者60人もの参加があり、熱気の溢れるセミナーとなりました。

今後は、枝幸町として「スポーツあふれるまちづくり」を旗印にして、市民がスポーツを楽しむ総合型クラブづくりを本格的に検討していくことになります。そのためには、平成20年育成指定クラブに向けて取り組む可能性は大きいと思われます。そして2~3年後には、道北の地にまたまた総合型クラブが誕生するものと期待されています。



〔4月24日 枝幸町〕



〔熱心にメモを取る参加者〕

◆枝幸町セミナープログラム

1. 開会
2. 開会挨拶 枝幸町教育委員会 茂木 重行 教育長
3. 講師紹介
4. 説明
 - ①スポーツで育む地域の夢づくり 「スポーツ界に黒船の来航」
道体協クラブ育成アドバイザー 渡邊 清
 - ②「育成指定クラブ委託事業の概要」
道体協クラブ育成アドバイザー 中沢 昭洋
5. 質疑応答

普及・啓発 紀行

速化！ 19市町村終える [7月末現在]



〔6月7日 仁木町〕



〔6月5日 興部町〕

平成20年度 指定クラブ検討市町村

石狩市	鹿部町	登別市	苫小牧市
南富良野町	泊村	蘭越町	仁木町
足寄町	北斗市	二セコ町	木古内町
川町	泊市	今金町	豊富町
中当別町	上ノ国町	新得町	新津川町
根室市	小樽市	大樽町	栗山町
枝幸町	美幌町	遠軽町	豊浦町
池田町	豊頃町	豊浜町	中島町
幌延町	恵庭市		
京極町			



〔7月25日 ニセコ町〕

総合型クラブの設立めざして！



〔6月4日 小清水町〕



〔6月4日 美幌町〕



〔6月21日 せたな町〕



〔5月30日 恵庭市〕



〔5月24日 池田町〕



〔5月23日 足寄町〕

ルポⅡ

十勝管内“多様な基盤組織”

道東地区的十勝管内は、既に総合型クラブ育成支援を目的に、北海道広域スポーツセンター機能推進本部の組織下である、十勝圏域スポーツセンターを立ち上げている地区であり、また清柳スポーツクラブが平成19年2月正式にクラブ設立。帯広の森スポーツクラブが、設立準備中の現状にあります。そうした中にあって、5月は十勝管内を重点地区として、幕別町、本別町、足寄町、豊頃町、池田町の5つの未育成町で、普及啓発説明会やフォーラムを開催しました。各町の総合型クラブを目指した取り組みはいろいろであり、中でも設立の基盤となる組織は、多種多様であることに注目したいものです。

◆多種多様な取り組み

- ①幕別町では5月22日「総合型クラブフォーラム」として企画。札幌医科大学の武田秀勝教授の講演が好評を博し、札内サッカ少年団（木村 誠代表）と桜寿会（山崎 徹会長）の少年団と老人会が基盤になって総合型クラブづくりがスタートします。
- ②本別町は5月23日教育委員会で実施。「あかげらスポーツ少年団」を基盤に検討。
- ③足寄町では5月23日町体育館で開催。芽登地区を「スポーツを通して何とか明るい地域に」と女性の体指が立ち上る。それを体協・町教委支援。
- ④豊頃町は5月24日「える夢館」において実施。町内7つの振興会の1つを先ずモデルクラブとして指定クラブを目指す。
- ⑤池田町では「田園ホール」で開催。現在、スポーツ同好会の統合や地域の一部を限定したクラブづくりなど模索している。



〔幕別町 武田教授講演〕

[前期] 現地調査・ヒアリング始まる 新規指定クラブの出遅れ顕著！

育成指定クラブの総合型クラブ設立に向けて活動等についての現地調査及び指導・助言を行なうとともに、情報収集を行なうこととした、育成指定クラブに対する前期の現地調査・ヒアリングが始まりました。

継続指定クラブは2年目とあって、各種委員会やスポーツ教室・イベントの事業が本格的に取り組みを開始しているものの、新規指定クラブは決定が例年よりも1ヶ月の遅れが響き、運営委員会や設立準備委員会などの開催に留まっている現状です。今後における本格的な事業の展開が期待されます。



〔熱心な摩周ふれあいの仲間達〕

ルボⅠ 「摩周ふれあいスポーツクラブ」

6月27日
弟子屈町公民館

16時からヒアリング、18時からは運営（実行）委員会が開かれました。委員は13人が出席。町の手本指しやスポーツ指導者達であり、終始、笑顔が弾ける、明るいムードいっぱいのものでした。話し合いの中味についても前向きで、「みんなで創り上げる」という姿勢が基盤になっていて感心させられ、この人達であれば総合型クラブを通して、町のスポーツ振興も安泰と期待しながら帰路に着きました。

ルボⅡ 「はぼろスポーツクラブ」

7月19日 羽幌町総合体育館

13時から町総合体育館会議室において、室田憲作クラブ委員長（体協会長）をはじめ、大西芳夫体協理事長、小杉晋次体協事務局長など、4人がヒアリングに対応。これまでに「ちびっこ水泳教室」に70人参加して事業もスタート。また6月には道内先進クラブを視察するなど、取り組みも順調に開始。

なおクラブからは、委託事業の2年継続を強く要望されました。



〔室田委員長中心にはぼろSC〕

ルボⅢ 「倶知安スポーツクラブ」

7月26日 倶知安町総合体育館

町総合体育館研修室で13時から、工藤吉一クラブ委員長、田中忠副委員長、岡本邦夫事務局長など4人が出席してヒアリングが行なわれました。

俱知安スポーツクラブは、日本有数のスキー場があるところだけに、スキーを核にした町民のスポーツ振興を目指す総合型クラブづくりです。この7月末から、いよいよ「ノルディック・ウォーキング」の事業が始まっています。

クラブ設立についても、やはり2年間の継続指定を受けることの要望が出されました。



〔スキーの特色出す倶知安SC〕

歩くことの意義認識

〔前期〕

育成指定クラブ連絡協議会開催



〔納得感の参加者〕

平成19年6月2~3日
道立総合体育センター

第1回 育成委員会

〔開催〕

=今井忠則委員長選出される=



〔育成・支援を協議する各委員〕

平成19年7月3日
道立総合体育センター

第1回育成委員会において、委員の中から今井委員長、宮川副委員長が再選されました。

会議では報告事項の平成19年度の育成推進事業、育成指定クラブの特徴的な活動状況、道内の創設状況、普及啓発に向けての取り組み状況について活発に話し合われました。

◆平成19年度 総合型地域スポーツクラブ育成委員会委員名◆

氏名	所属(職名)	氏名	所属(職名)
○今井 忠則	古河市総合運動場委員長	川原 顺司	札幌市北区スポーツ少年団部長
○宮川 武志	十勝体育会体協議会	山本 豊	钏路市立総合运动場スポーツセンター協議会委員長
久保田敏夫(会長)	北海道スポーツ指導者協議会	門馬 政司	北海道教育生涯学習推進局文化・スポーツ課(主幹)
小山 秀昭	北海道体育指導委員会協議会(会長)	○委員長	○副委員長

▶「北のクラブの交流会」第1日18:00から51人参加の盛況

今後の事業予定

- クラブマネジャー研修会 8月25日～26日(函館市)
- 総合型クラブフォーラム 9月28日 (小樽市)
- (後期) 連絡協議会 10月3日 (札幌市)
- 第2回 クラブミーティング2007 11月1日 (帯広市)

事業・会計中間報告

(10月中旬までのもの)

◆道体協締切日 10月26日(金)

※ 全部揃って日本体協提出ですので期限を守って下さい。